

町長と語る

トーク広場

第53回

地域ぐるみで、子育て支援 ～好評です！ 拠点施設の「ぽけっと」～



地域の支えの中で安心して育児ができる環境を作ろうと、昨年十月に子育て支援センター「ぽけっと」が誕生。
少子化・核家族化が進む中、子育ての地域拠点施設として期待を集める「ぽけっと」の利用状況や実際に使ってみての感想などをセンター長の山浦彩子さん、利用者側の鈴木さとみさん、兼松友紀子さんの三人に伺いました。



町長 ぽけっとがオープンして、半年余りが過ぎました。利用状況はいかがですか。

山浦 遊びの広場については、一日平均十五〜二十組くらいの利用があり、親子で遊んだり他の親子との交流を楽しんだりして頂いています。他に一時預かりや子育て相談なども行い、子育て中のご家庭の様々なニーズに応えられるようにスタッフは努力しています。

町長 一時預かりの方はいかがですか。多くの方が利用しやすいように、今春から料金を値下げしましたよね。

山浦 はい。一時間(平日)あたりの利用料を三歳以上のお子さんが四〇〇円で、二歳以下のお子さんが六〇〇円に下げました。現在の利用は一日二〜三人ですが、今後はもっと増えるのではないかと思います。

町長 実際にぽけっとを利用されて、どんな感想をお持ちですか。

鈴木 ぽけっとのオープン当初からお世話になっています。広いスペースの中で、のびのびと遊ぶことができ、息子はもう大喜び。高熱で休んだ時も、うなされながら「ぽけっとに行く」と言っていたほどです。親の私も、先生方から子育てのアドバイスをたくさんいただき、とても勉強になりました。

兼松 私も一歳八カ月の娘と一緒に、ぽけっと漬けの毎日です。お弁当を持ってぽけっとへ行き、娘とたっぷり遊んで帰って来ます。葉山へ越して来たばかりで近所に知り合いもなく、心細かったのですが、ぽけっとのお陰で、お友達もたくさんでき、今は子育てを楽しんでいます。

一時預かりは、ふだんから顔見知りの先生方に、子どもを託せるわけですから、親としても安心です。

町長 ぽけっとは、お子さんにも保護者にも好評のようですね。何か心

がけていることはありますか。

山浦 ぽけっとは親子の触れ合いを深める場として、お子さんと一緒に時間を大切にして頂いています。ただ、お母さん同士のおしゃべりが弾んでいる場合もあります。もちろん、お母さん同士の交流も大切ですから、そのような時は、スタッフがお子さんと仲良くなるようにしています。また、お母さんやお父さんとも理解を深められるよう心がけています。

町長 ところで、ぽけっとは地域でお子さんを預けたい方と預かりたい方の橋渡しをする「ファミリースポーツセンター」の役割も担っていますね。

山浦 支援会員のみなさんはとても熱意があり、お子さんを安心して預けられる人たちがばかりです。最近さまざまな理由で預けたい方の登録が増えてきています。

町長 そうなんですよ。葉山でも保育園の待機児童や学童保育の問題など、子育てにかかわる課題が山積んでいます。

次代を担う子どもは葉山の宝です。町ではこれらの問題の解決に努め、今後も子育て支援に全力を注ぎたいと考えています。